

建設防災 ボランティアニュース 第76号

目次

- ・ 年頭のご挨拶
- ・ コロナ禍の中の活動状況
- ・ リーダー会の開催
- ・ 後期道路施設点検
- ・ 東京都・北区合同総合防災訓練

年頭のご挨拶

コロナ禍の中でも安定的な事業継続を！

新年明けましておめでとうございます。



年が改まって、いまだに新型コロナウイルス感染症が収まらず、年明け12日には11都府県に緊急事態宣言が再度発出されました。不要不急の外出の自粛、飲食店の夜間営業時間の短縮などの要請や電車などの交通機関の終電時間の繰り上げなど、日常生活への影響が一段と強まっていますが、会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年の当協会の活動を振り返りますと、まさにコロナに振り回されたと言っても過言ではありません。密を避けるため定例総会を書面で開催したことに始まり、勝どき橋ミニツアーや河川愛護月間行事など都民を対象としたイベントの中止、延期、縮小などのほか、建設事務所と連携する活動も参加人員や規模の縮小など、大きな制限を受け、十分な活動が出来なかった、と感じている会員も多いと思います。一日も早くコロナが沈静化し当協会の活動も復活できることを願うばかりです。

然しながら、感染が日本だけでなく世界的にも収まらず、さらに変異したウィルスの出現などを聞くと、コロナの封じ込めは残念ながらまだ時間がかかりそうです。そうした場合、イベント・行事などを中止、延期等での対応だけではなく、更にはコロナ禍における地震など重大災害時の当協会の活

動内容の再構築を含め、今後どのような対応を図っていくかを検討しなければならない事態が生じて来るかもしれません。コロナ禍においても当協会の役割に期待する声に応え、安定的な事業継続を目指すためにも、会員各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年も引き続き東京都建設局、(公財)東京都道路整備保全公社、(公財)東京都公園協会の当協会への更なるご理解ご支援を賜りますようお願いするとともに、一層のご発展を祈念申し上げます。また会員各位の今年一年のご健勝をお祈りし、重ねて当協会活動の充実に向けご協力をお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和3年 睦月

会長 山口 明



コロナ禍の中の活動の状況

コロナ禍の今年度、ほとんどの活動が中止か縮小に追い込まれました。この異常な事態を忘れないために、それぞれの事業にどのような経緯があり、どのように対応したのかを簡単に報告します。

◆定期総会

緊急事態宣言発出前日の4月6日(月)に緊急理事会を開催し、総会の中止とこれに代わる書面決議を決定し、4月中旬にその旨全会員に葉書で連絡しました。その後総会予定日だった5月13日(水)に事業計画書を発送し、同封した書面

で事業計画への賛否を問い、全会員の賛同を得て決定となりました。

なおリーダー会については、開催日を7月8日(水)に延期して開催しました。

◆東京都・北区合同総合防災訓練

規模を縮小したうえで、予定されていた9月1日(防災の日)を11月22日(日)変更して実施されました。協会には例年より大幅に少ない3名の参加要請があり、六建班から長島さん、渡辺さん、西村さんが道路啓開訓練に参加し、広報として担当理事の林を追加してもらいました。

◆初動対応訓練

令和3年1月31日(日)に実施予定ですが、12月に建設局より規模を大幅に縮小して実施するため、ボランティア協会の参加要請は見合わせるとの通知がありました。

◆砂防講習会

例年5月(前期)と11月(後期)に開催されてきた「砂防ボランティア全国連絡協議会」及び6月の「砂防ボランティア全国の集い」は中止となりました。また12月に予定されていた砂防講習会も、残念ながら中止となってしまいました。

◆施設見学会等

当初11月に「環七地下広域調節池の石神井川区間工事と既設の神田川地下調節池」の見学を予定していましたが、説明等をお願いする三建にご迷惑をかけることにもなりかねないことから、10月に中止を決定しました。来年度は同じ企画での開催を考えています。

◆道路施設等点検

前期の点検は、5月に道路管理部より緊急事態宣言が発令中であることから延期との連絡がありました。また後期は9月に協力依頼があったものの、ボラ協への参加要請は各事務所で

異なる対応になりました。現段階での実施状況は下記のとおりです。

事務所	日 時	参加者
一建	11/9～30	4名
二建	11/26～12/11	4名
南東建	11/13	9名
南西建	12/3	9名
北南建	11/30、12/2、3	2名

なお、四建、五建及び北北建については、規模を縮小し、現職のみで実施するとの連絡がありました。今後各事務所の対応が判明次第、担当の久保田理事、または林まで連絡願います。

◆河川愛護月間行事

例年の開催時期が「東京2020大会」と重なるため当初から規模の縮小が検討されていましたが、新型コロナの影響も重なったためすべての行事が中止となりました。

◆勝鬃橋ミニツアー

前号で令和2年5月14日に再開とお知らせしたのですが、4月に延期を連絡しました。その後10月の再開を目指し公社と具体的な協議を始めたもののこれも延期となり、現在令和3年4月再開に向けて準備を進める予定です。

◆東京 橋と土木展

例年11月の土木の日を中心に開催されてきた建設局主催の「東京 橋と土木展」は、土木学会主催の「土木コレクション」とともに中止となりました。

◆建設局長による感謝の会

12月に建設局長より、新型コロナウイルス感染症の感染動向を踏まえ、当面の間、開催を見送るとの連絡がありました。

広報担当 林幹生



リーダー会議は消毒を徹底して開催

令和2年度第1回リーダー会議が7月8日午後、リーダー・サブリーダー18人の参加を得て道路整備保全公社会議室において開かれました。これは、新型コロナウイルスの影響で例年より2カ月ほど遅れた本年度初めての集合の会議です。会場では開始前に役員による机や椅子の消毒や部屋の入口にアルコール消毒液を置くなど感染拡大防止に努めた会議でした。

会議は新井副会長の進行のもとで始まり、最初に山口会長から「新型コロナ感染のため、会員が集まっての総会を開催することができませんでした。しかし、会員の皆さんのご協力により本年度の事業計画等も承認されました。今年度の事業は、新型コロナの感染状況を踏まえながら、事業計画に基づく各事業を建設局、道路整備保全公社、公園協会と連携を取りながら進めていきたい。会員をはじめ、リーダー等の皆さんにはよろしくご協力をお願いしたい」との挨拶がありました。



当日の議題は、1) 新規会員について、2) リーダー、サブリーダーの紹介、3) 各行事の予定等、4) 活動報告書について、5) 緊急連絡表の作成について、6) 事業計画書の配付について でありました。

1) は、本年4月に入会された会員5名（江澤直人氏、内野祐彰氏、西村行正氏、細川卓巳氏、藤木仁成氏）、2) については本年度新たにリーダー・サブリーダーになった多澤秀信氏（一建）、杉橋要氏（五建）、佐藤鉄氏（西建）の3名の紹介を佐藤副会長が行いました。

次に3) は、(1)勝どきミニツアーについては、林理事から建設局及び公社において10月1日を目途にツアー再開を計画していること、研修会は12月に予定していることを、(2)河川愛護月間行事の支援については、高橋理事からオリンピック・パラリンピックや新型コロナの感染拡大のため、すべての行事が中止となったことを、(3)久保田理事からは①総合防災訓練はオリンピック・パラリンピック延期のため11月22日に北区で開催し、②初動対応訓練の実施日は未定ではあるが例年通り2月上旬ごろに行われるのではないかと、③前期の道路施設点検は延期の連絡があったが新型コロナの影響で中止の可能性がある、後期日程は未定であるが、10月中旬を目途に9月に建設局から連絡があるのではないかと説明がありました。



4) の活動報告書の提出先については、これまで総務担当理事宛でしたが今年度から事業ごとに各事業担当理事あてに変更したい旨の、5) については作成次第総務担当理事まで提出の、6) については各リーダー等に配付をお願いするが、計画書の一部に修正箇所があったので、それについては訂正の上、総務担当理事が関係事務所に連絡する旨の説明が佐藤副会長からありました。

最後に、新井副会長から今年度も建設局等と密接な連携を保ちながら事業を円滑に実施していきたいので、リーダーの皆さんのご協力をお願いしたいとの挨拶があり閉会しました。

広報担当理事 丸岡敏夫



後期道路施設等点検は実施

都民から「ご苦劳様です」 南東建班

11月13日(金)南東建ボランティア(敬称略以下同、武内、織田、杉本、原田、矢内、大坪、若尾、佐々木、柴田の9名)はコロナ禍で中断していた徒歩点検を実施しました。当日は、前日までの寒さと打って変わり朝から晴天に恵まれ穏やかな小春日和の中、行うことができました。

今回の点検箇所は町田街道(南側区間:中町交番前交差点～南橋交差点。北側区間:中町交番前交差点～滝ノ沢交差点の計 3.88km 区間)です。当日、会員全員が事務所に9時10分には集合し荒井補修課長のご挨拶、相場統括係長、佐藤主事のコースや点検上の留意点について説明を受けた後、現場に向け9時30分頃、徒歩にて出発しました。

点検作業は、南側班(原田、杉本、矢内、佐々木と相場統括係長の5名)と北側班(武内、織田、大坪、若尾、柴田の5名)に分かれ、中町交番前交差点を起点にそれぞれ終点側までの間、左右の歩道(L⇒R、R⇒L。)を中心に点検しました。

北側区間では、途中旭町交差点から鎌倉街道の西側奥に大山の雄姿が見られ、一瞬ですが息抜きとなりました。また、終点からの帰路には一般都民の方から「何の調査をされているのですか」との質問を受け、「我々は都庁OBであり都民や利用者の皆様にとって、安全な道路となるようボランティアで点検をしています」と応えると、都民の方から「ご苦劳様です」との労いの言葉をいただきました。

点検結果は日頃から南東建の関係職員の皆様が多く都民や利用者のために御尽力されている様子を十分感じとることができました。がしかし、我々も折角の点検活動ですので、より一層安全、安心な道路となるようにとの想いから、若干の箇所(巻き込み部ブロックの一部浮きなど)について指摘させていただきました。

点検は順調に進み11時15分頃には、起点部の中町交番前交差点に戻り、同交番西側裏の芝

生広場において全員集合の記念撮影をし、再び所に戻りました。帰所後、荒井補修課長から点検に対する感謝のご挨拶をいただき帰路につきました。



途中で、いつものように有志7人により、昼食懇親会を行いました。コロナ下における会員の日々の様子やGOTOキャンペーンの話など、有意義な情報交換会と懇親の時間を過ごせました。懇親の終わりには次回に向けての気合を込めて、一本絞めを行い、帰宅の途につきました。

末筆で恐縮ですが、南東建の関係各位のご配慮に深く感謝申し上げます。併せて、参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。

南東建班 柴田賢次



南西建班から写真が届きました



東京都・北区合同総合防災訓練

準備に リハーサルに そして本番に！

今年は、新型コロナ感染拡大を踏まえて、例年行っている 9 月 1 日(防災の日)を延期して、11 月 22 日(日)という勤労感謝の日を含む 3 連休の中日開催となった。

訓練テーマは「住民等による自助・共助」と「行政及び関係機関の連携」、「コロナ禍における自然災害への対応」、会場は北区中央公園ほか、想定地震は東京湾北部を震源とする M7.3 の首都直下型地震である。

建設局関連の訓練は道路啓開のほか、道路管理部の道路における災害対策についてのパネル、東部公園緑地事務所の防災公園関係のパネル展示、防災トイレ、テントの実物展示をした東京都公園協会、河川部と六建の合同による水防、土砂災害、スマートフォン等を用いた水防災総合情報システムの操作体験、移動式排水ポンプ車の展示が行われた。

訓練実施に当たっては、総務局総合防災部が以下のような全般方針を策定して万全の体制で臨んだものである。(これまで経験したことない異例な体制)

「全般方針」

●コロナ禍においても、必要な訓練を行うことは重要であり、消毒液やフェイスガード等をはじめとする感染症防止に必要な対策を施したうえで、訓練を実施する。また、各機関に対しては、現下の状況を踏まえ、コロナ対策にかかる取組を訓練・展示内容に盛り込むよう依頼する。

●一般来場者が多く訪れる北区中央公園会場においては、一般来場者の人数制限及び接触確認アプリの登録を必須とするなど一定の制限を行う。

●自助共助・展示訓練については、一般来場者との接触が多く発生するため、テントの数等を縮小する。また、展示や体験訓練の実施方法については、感染症対策を踏まえた形態に工夫を行い実施する。

●また、その他訓練においても、一般来場者との接触等も踏まえ、事務局より大幅に制限をお願いする可能性がある。

これらの方針を受けて、北区管内を所管する第六建設事務所は現在北千住庁舎が改築工事のための仮住まいの最中、様々な困難を乗り越えながら入念に準備を進めてきた。例年は近隣の事務所を含めボランティア協会だけで 20 名弱の参加をしてきたが、一般都民の見学や参加者も制限され、規模を縮小して行われたということであるが、熱のこもった訓練で通常時と変わらぬ大規模な訓練となった。

第六建設事務所は所内準備会議を 10 回程度重ね、例年のビデオを何度も見返すなど入念な準備を進めてきた。我々ボランティアも4回ほどの準備会と、前日の 11 月 21 日(土)には本番さながらに実施されたリハーサル訓練にも参加した。強風で土埃の舞う中、各参加機関は他機関に負けぬよう、気合と怒声の飛び交う熱のこもった様子であり、マスク越しにすごい量の飛沫が飛んでいたと推察される。都も区も警察、消防、自衛隊等のプロ集団に負けず劣らず、精いっぱいのリハーサルを行った。

本番当日は前日とうって変わった穏やかな晴天で、参加者一同ほっとしていた。

我々ボランティアが参加する道路啓開訓練は、がれきの山、倒木、コンクリート管などが都道を塞いだため、緊急に除去し通行可能にする訓練である。この訓練が大規模地震発生直後最初に行われる訓練であり、全体のトップバッターとなるので注目を浴びる。



まず、我々ボランティア3人が巻き尺を持って現地の状況を測量し、担当工区長に報告をするところから訓練が始まる。サブリーダーの渡邊さんと長島が測量を行い、3人整列し、最若手(?)の西村さんが大声で報告する役割であった。



北工区長の指示を受けた北区のメンテ業者が即座にペイローダーと人力により速やかに支障物を撤去し、3m以上の通行幅を確保した。



この訓練を皮切りに消防車、救急車の通行が可能になり、中央公園内に設置された10にも上る仮設建物等での様々な形態の救助訓練が本格

的に展開された。警察、消防、自衛隊のヘリによる救助作業や、高層ビルを想定した仮設ビルからの救出訓練などコロナ禍と思えない圧巻の訓練であった。



その後、各機関代表者が整列し、小池都知事、石川都議会議長、花川北区長、渡辺北区議会議長の高評価の講評があり、12時過ぎに無事終了した。建設局においても中島局長からねぎらいの言葉があり、成功裏に訓練が終了した。

六建班 長島修一

酒井さん お世話になりました！

公社の事業調整担当酒井達夫さんが昨年3月末で退職されました、いつも穏やかにポイントを押さえたご指導で、4年間私たちを支えていただき心より感謝します。今後は協会員としてのご活躍を願っています。お酒を飲むと横の人にしなだれかかるため「枝垂れ柳の達夫」とも呼ばれたという酒井さん、コロナ禍の中、気を付けて下さい。退職にあたり思い出などを書いていただきました。

隅田川著名橋等ツアーに携わって

令和3月に(公財)東京都道路整備保全公社を退職しました。在職中は、協会の皆様をはじめ建設局の方々には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

さて、これまで携わっていた「隅田川著名橋等ツアー」について振り返ってみたいと思います。

平成29年春、建設局から、勝どき橋の長寿命化工事を始めるという話があり、工事中の2年間はミニツアーができないこととなりました。これを受

けて、ボランティア協会と公社とで、代替ツアーについて、いくつかの案を検討しました。その結果「隅田川著名橋等ツアー」を行うことで、建設局とも調整し、紆余曲折ありましたが、3者で協定を締結することができました。

このツアーに携わった者として、短い期間ではありましたが感慨深いものがありました。

私事です、ツアーの立ち上げ前は、隅田川橋梁についてほとんど深い知識も無い状態でした。しかし、案内説明用のガイドブックやツアーマップの作成過程に携わり、ツアーに何回も同行して参加者と一緒に協会の説明を聞いていくうちに興味も増し、自分でも歴史を調べるなど、知識がどんどん深まっていきました。

もともと時代小説が大変好きで、数多くの作者の作品を読んでいましたが、隅田川を舞台とする小説も多く、実感を持って身近に感じるようになりました。また、沿川は数多くのテレビドラマの舞台となっていることに改めて気づき、その中に橋の映像が映ると橋の名前がすぐ浮かび、場所もどのあたりか瞬時にわかるようになり、テレビ視聴時の楽しさが一層増しました。



このツアーで、隅田川の橋梁や沿川の施設について、数多くの勉強をさせていただいた中で、何よりも、参加者とガイド役の協会員両者に一つの事故やトラブルもなく無事に終えられたことは大変良かったと思います。また、アンケートの結果、圧倒的多数の参加者に大満足の回答をいただいたことも、ツアー主催者としてこの上ない喜びであり、協会員の皆さまのご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

二建班 酒井達夫

再掲 令和元年度初動対応訓練

前号の「令和元年度初動対応訓練」の報告に載せられなかった、二建班の報告を改めて掲載します。

現役にアドバイスも

当日(1月31日)は、古川俊明リーダー以下、鈴木秀一、橋本栄良、船山吉久、藤田雅人の五名が、応急対策班として参加しました。

10時15分過ぎより安藤副班長から被害現場の説明および現場確認・対応の指示を受け、防災ボランティアは二建職員2名との3名体制で各人が指定された現場に向かいました。

応急対策班の二建職員は班長、副班長を除いては全員が主任あるいは主事の係員で、レスナビ、MCA無線も初めて操作するという職員もいたため、(二名とも初動対応訓練自体が初めてという組み合わせもありました)これまで経験がある防災ボランティアが適宜アドバイスも行いながら作業を進め、現場ではマニュアル片手に作戦本部との通信訓練を行ったのですが、特に混乱もなく無事に終了しました。

全体の訓練終了後、本部長の久野所長より参加者全員に対し「訓練は皆一所懸命に取り組み全体的に良好に行われたが、一部レスナビあるいはMCA無線の操作に戸惑った事象もあった。今後とも震災時に適切な初動対応ができるよう心掛けるように。また防災ボランティアの皆さんには参加していただきありがとうございました。」との訓示を受け終了しました。

その後、我々は所の管理職員と記念撮影を行った後、恒例の反省会場へと足を運び、訓練と同じ時間を費やして本日の感想や近況報告などを話し合い散会いたしました。

なお現場に行く途中、同行した二建職員から防災ボランティアとはどういう団体なのかという質問を受けました。(我々がOBということも知らなかったのかも)若い職員には馴染みが薄いのかかもしれませんが、いざという時に一体となって活動するためには今回のような機会を捉えてもっとPRするべきだと感じました。

二建班 藤田雅人



新会員の紹介

次の方々が新たに入会されました。よろしくお願いいたします。

細川卓己(東部公園班)
江澤直人さん(北北建班)
西村行正さん(六建班)
内野祐彰さん(五建班)
藤木仁成さん(二建班)
村井良輔さん(三建班)
若林茂樹さん(五建班)
三浦隆さん(本部・顧問)
今村篤夫さん(西部公園班)
新井田功さん(五建班)



次号の原稿を募集します！！

コロナ禍の中自粛が続き、皆様も身体と意欲を持て余していると推察いたします。このニュースも、活動が無いなか原稿をお願いすることもできず、ようやく今年度第1号を発行することができました。

しかし1月8日には緊急事態宣言も発出されて活動再開の見通しもたらず、第2号の発行もままなりません。そこで考えました。我々OBの得意とする、長い期間培った知見とこれまでの豊富な経験にお願いしよう！！と。

皆様が携わっている(いた)他の防災活動やボランティア活動、ボランティアにお世話になった経験、モチベーションや体力維持のために試みていることなど、防災とボランティアに係わることであれば何でも結構です。字数は1頁分約800字程度まで、写真等もつけて自由に書いてください。もちろん短くても構いません。2月中に送付していただければ幸いです。

併せて今号に紹介された新会員の皆様にも200字程度で自己紹介をお願いします。ニュースを継続するためにもぜひ沢山の会員のご協力をお願いいたします。

広報担当 林幹生

訃報



柳川修さん(75歳)が昨年6月18日(木)にご逝去されました。柳川さんは平成16年から二建班で活動され、平成21～22年度にはサブリーダーとしてご活躍されました。また平成29年度まで勝鬃橋ミニツアーの案内も担当し、道路施設等点検には平成30年度後期まで参加されていました。長い間の活動に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

協会からのお知らせ

- ① 各班の活動報告をお待ちしています。下記編集担当理事又は林まで連絡願います。
林アドレス(mikio.hayashi@okumuragumi.jp)
- ② 協会のH. P(東京都建設防災ボランティア協会掲示板)には、最新の情報、ニュースのバックナンバー、建設局報などが載っています。
アドレス(<http://tokyo-adv.info/>)

編集後記

令和2年度の第1号に新年のご挨拶を載せることになるとは……。ほぼ10カ月ぶりの編集は、自宅でテレワークのよろしくパソコンに向かっても、原稿やら資料を探すのに一苦労。全体のイメージや文章もなかなか出てこない。次号はこんなことにならないように願いつつ、まずは原稿です。皆様ぜひぜひよろしくお願いいたします。一刻も早い活動再開を祈ります。(MH)

発行人 山口 明

発行 東京都建設防災ボランティア協会

新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

(公財)東京都道路整備保全公社内

編集 佐野正生、高橋紀男、林幹生、

堀内康彦、丸岡敏夫

